

社会奉仕委員会

委員長	笹島 良雄 (和歌山 東)
委員	大岡 四郎 (海 南)
委員	谷脇 良樹 (海 南 東)
委員	坂本 恵子 (田辺はまゆう)
委員	根来 孝夫 (和 歌 山)
委員	岡野 年秀 (和 歌 山 東)
委員	堤 昌男 (和 歌 山 南)

2007-08 年度活動計画 (案)

(基本方針)

ロータリークラブの社会奉仕活動は「ロータリーの心臓の鼓動」とも呼ばれることがあります。

地域内外で行う奉仕活動はロータリーの存在と精神の特徴を顕示します。効果ある社会奉仕活動は、ロータリーのステータスを高め、声価に影響を及ぼします。

実際にロータリーの評価は、クラブの社会奉仕活動の価値による事が多くあります。近年ロータリアンの減少が憂いられています。ロータリアンが地域で効果ある奉仕活動を行えば地域の志ある人がロータリーに関心を示し、そして入会への大きなアピールとなります。

地区社会奉仕委員会は、各クラブに必要な情報の提供、良い奉仕活動の推奨、推薦を含めて、社会奉仕活動を鼓吹し、お手伝いをします。

(活動計画)

1. 地区社会奉仕委員会の責務

- ① ロータリー関係の情報の提供
- ② R. I. の社会奉仕関係の情報の伝達
- ③ 成功を収めたクラブの社会奉仕プロジェクトの紹介
- ④ クラブ社会奉仕委員長の職務遂行への手助け
- ⑤ 他委員会との協調 (環境保全委員会、新世代委員会)

2. 各クラブの社会奉仕活動の相互情報交換

各クラブの特色ある社会奉仕活動を提出願い、それをまとめて全クラブに提供する。

その中で8件を選び、7月度の地区社会奉仕委員長会議で発表して頂きます。(提出様式等別途連絡)

3. 各クラブに推奨する奉仕活動

① 識字率向上運動

全世界で読み書き出来ない人口は9億人とも言われ、それから派生する人口、環境、病気等々まさに諸悪の根源とも言われています。国際ロータリーも常に大きなテーマとして、推奨し続けています。2640地区としても、重点テーマとして推奨し続けます。

- ・書き損じハガキ、未使用テレカの寄付
- ・ポケットコインの募集
- ・識字率向上月間、3月度にPRをお願いする

② エイズ問題への取り組み

エイズは「サイレント・津波」と言われる様に危険を含み、広がりつつあります。先進国では減少しているにもかかわらず、日本は増えつつあります。各クラブで検討頂き可能な活動をおすすめ致します。「レッドリボン活動」は今年も続けます。

和歌山地区の県と市との協力キャンペーンは、既に協力依頼がありました。

4. 推薦する奉仕活動

- ① 献血運動 血液の受給バランス崩れ、赤十字は困窮
- ③ ダメゼッター運動

各クラブの社会奉仕委員長皆様の御健闘をお祈りします。